



福島県男女共生センター広報誌

# 未来館 NEWS

Public relations magazine  
**MIRAIKAN NEWS**

2020  
WINTER  
**76**

特集

「センター開館から20年!  
福島県民の男女共同参画に関する意識の変化」



福島県男女共生センター  
女と男の未来館

福島県男女共生センターは平成13年1月18日に開館し、令和3年1月18日で開館20周年を迎えます。

そこで、福島県が実施している「男女共同参画に関する意識調査」から、センター開館当時と20年経った現在の県民の皆さんとの男女共同参画に関する意識がどのように変わったか、みていきたいと思います。

### 「男女共同参画に関する意識調査」とは？

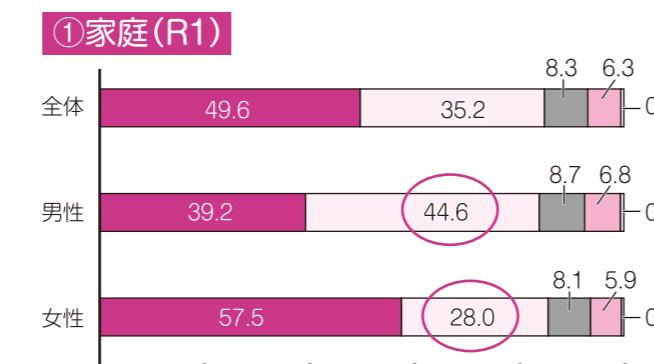
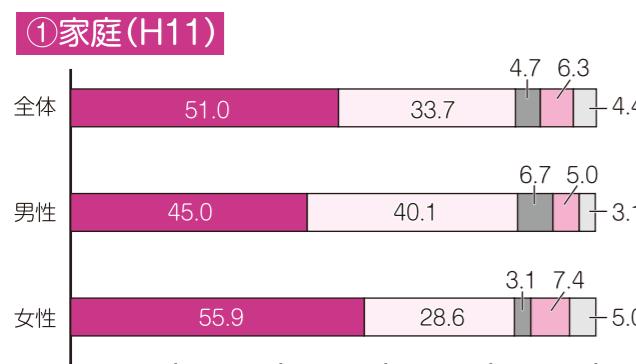
男女共同参画に関する県民の意識を把握するとともに前回調査からの変化を探り、分析結果を「ふくしま男女共同参画プラン」の改訂および今後の施策展開の基礎資料とする目的とした意識調査。

#### 【出典】

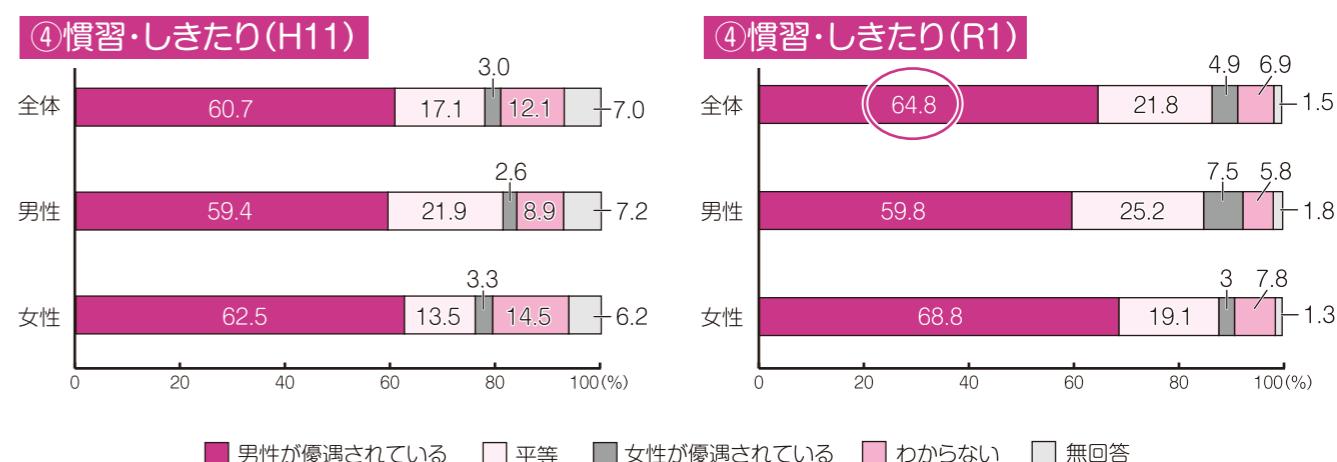
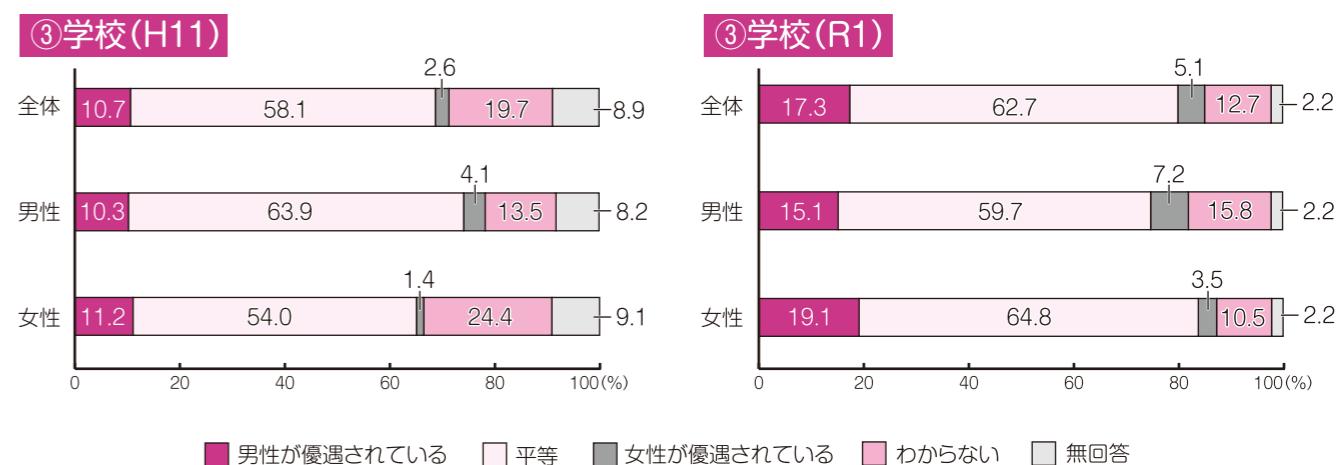
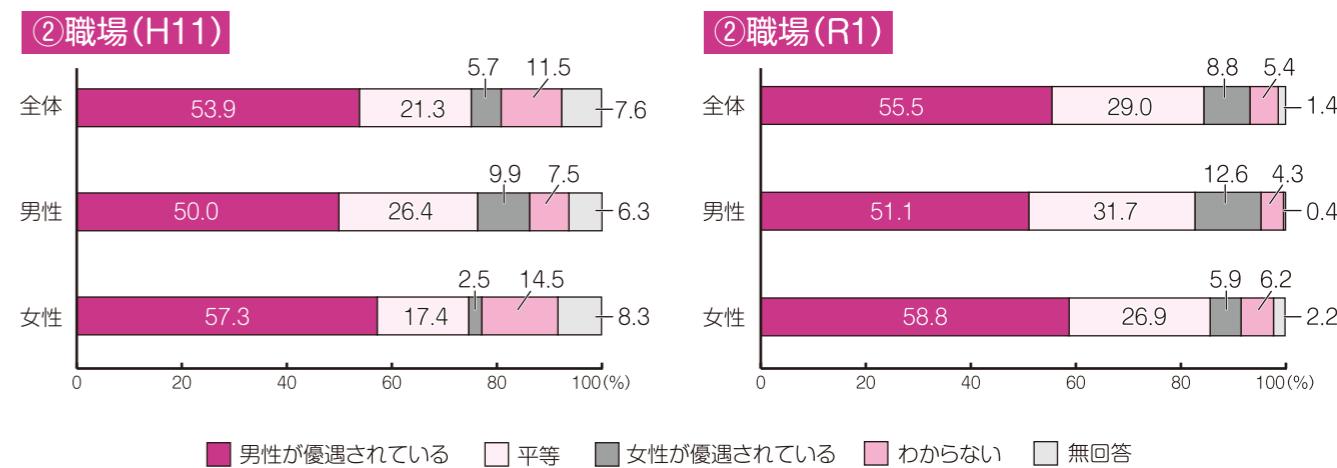
- ・「男女共同参画に関する意識調査」報告書(平成12年2月) ※調査時期は、平成11年10月
- ・「男女共同参画・女性の活躍促進に関する意識調査」報告書(令和2年3月) ※調査時期は、令和元年9月

### 1. 男女の地位の平等(①家庭、②職場、③学校現場、④慣習・しきたり)

- H11、R1共に①家庭②職場④慣習・しきたりは、「男性が優遇」、③学校現場は「平等」と回答した割合が最も多かった。
- R1の①家庭を男女別に比較すると、男性で「平等」と回答した割合が44.6%に対して、女性は28%だった。共働き世帯が増え、家事や育児をする男性が増えたことで、男性は「平等」であると感じているのではないかと推測される。
- ④慣習・しきたりについては、20年経っても「男性が優遇」と回答した割合が6割以上だった。



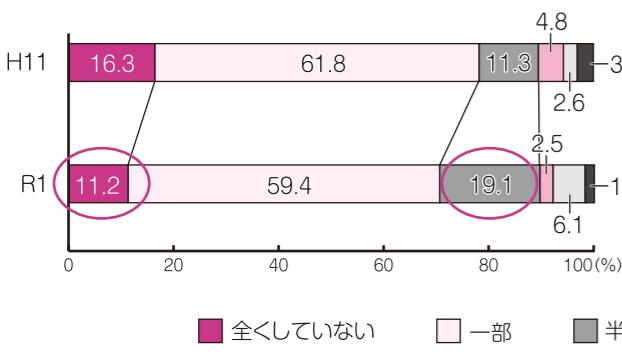
■ 男性が優遇されている □ 平等 ■ 女性が優遇されている ■ わからない □ 無回答



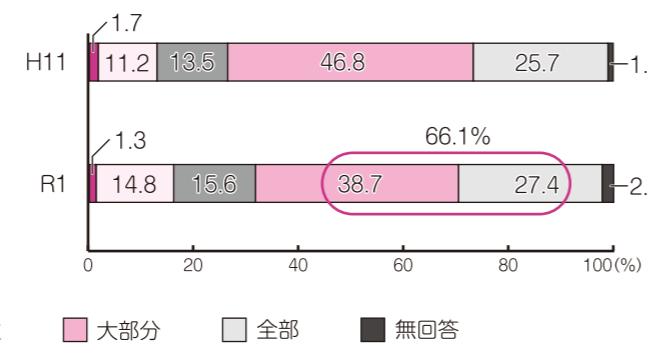
## 2. 家事・育児・介護の負担割合(①家事、②育児、③介護)

- ①家事の男性については、H11とR1を比較すると、「全くしていない」が減り「半分位」が最も増えた。一方、女性は「大部分」が減り「一部」「半分位」が増えたが、「大部分」「全部」と回答した割合が66.1%と依然高い値だった。
- ②育児の男性については、「一部」が減り「半分位」が17.6ポイント増加し、3割以上の男性が育児の「半分位」を担っていると回答した。一方、女性は「大部分」「全部」と回答した割合は微増しており、併せて77.9%と家事より高い値だった。
- ③介護の男性については、「半分位」だけが増え、それ以外の項目は減っていた。一方、女性は、「一部」「大部分」が減り、「半分位」「全部」の項目が増えた。

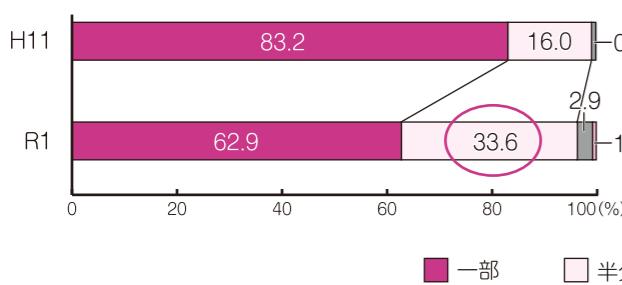
①家事(男性)



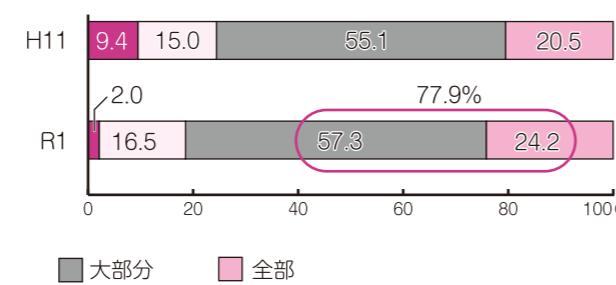
①家事(女性)



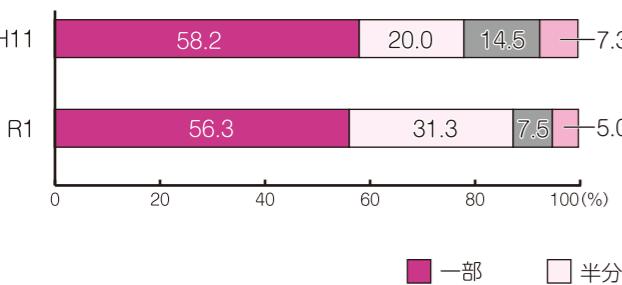
②育児(男性)



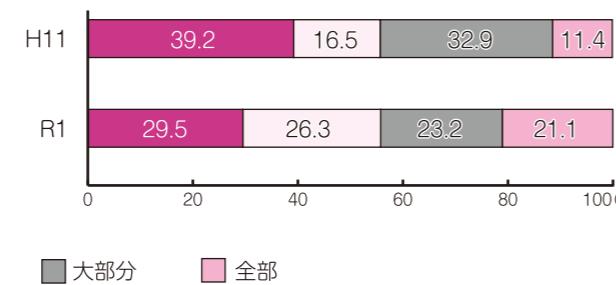
②育児(女性)



③介護(男性)



③介護(女性)



## 3. 「夫は外で働き、妻が家庭を守るべき」という考え方について

- 全体では、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した割合が34.7ポイント増え、73.8%となった。特に、男性の方が女性に比べ「そう思わない」と回答した割合が増えた。県民の固定的性別役割分担意識<sup>(※1)</sup>は大きく変化したようだ。

<sup>(※1)</sup> 男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。

### 回答項目の変化

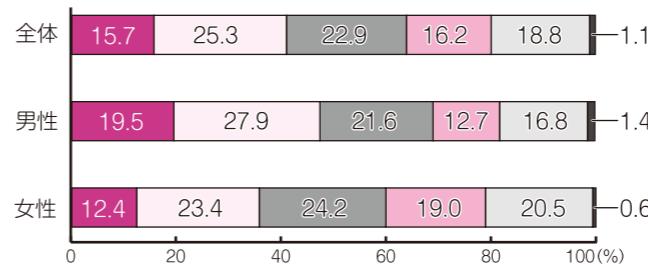
●平成11年

「賛成である」  
「やや賛成である」  
「あまり賛成しない」  
「賛成しない」  
「どちらともいえない」  
「無回答」

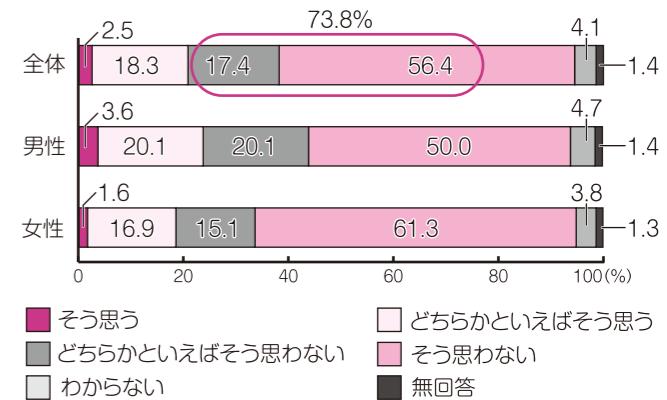
●令和元年

「そう思う」  
「どちらかといえばそう思う」  
「どちらかといえばそう思わない」  
「そう思わない」  
「わからない」  
「無回答」

### 「男は仕事、女は家庭」について(H11)



### 「男は仕事、女は家庭」について(R1)



今回の調査では福島県の男性の家事・育児・介護負担の割合は少しずつ増えてきてはいますが、20年前の調査と比べて家事・育児・介護はほとんど女性が担っている状況は変わっておらず、特に育児は女性の8割近く(令和元年)が「大部分」もしくは「全部」を担っていると回答しています。一方、男性は育児を「半分位」負担していると回答した割合がこの20年で、16%から33.6%に増えましたが、男女で比較すると、負担割合について認識のずれが生じていることもわかりました。

平成11年の調査から20年経過し、「男性は外で働き、女性は家庭を守る」といった固定的性別役割分担意識に否定的な考えが7割以上となり、男女共同参画型の考えに大きく変わっています。女性の家事・育児・介護の負担軽減だけではなく、キャリアアップ等の側面からも男性の家事育児参画はより増やしていく必要があります。国や企業等も働き方改革やワーク・ライフ・バランス、女性の活躍促進等の取組を積極的に進めている今、男女共に仕事も家庭も責任を持ち、協力していくことが重要です。

# 事業レポート | ダイバーシティ理解促進事業講演会

「多様な性について知ろう～LGBTからSOGIへ～」

令和2年9月5日(土)に講演会「多様な性について知ろう～LGBTからSOGIへ～」を開催しました。講師の渡邊歩さんは、郡山市出身のトランスジェンダー男性で、現在は日本初のLGBT支援を目的に設立された早稲田大学GS(ジェンダー&セクシュアリティー)センターの専門職員として、学生の相談支援や学内での啓発などを担当されています。LGBTなどの性的少数者を含めた多様な性について、また当事者としての自身の経験について、そして周囲の人々は何ができるか、わかりやすくお話ししてくださいました。

## 1. 多様な性について

### (1)LGBTとは

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を併せた言葉。

日本の統計では人口の3.3%～10%がLGBTだと言われている。福島県内の「佐藤さん」は5.8%だが「佐藤さん」が珍しいと感じないように、LGBTも実は多く存在している。

### (2)性の構成要素

個人を構成する性自認(自分の性別に関する自己認識)、身体的性、性表現(どんな服装や振る舞い、言葉遣いをするかなど)、性的指向(自分がどの性別に魅力を感じるか)は、社会によって構成されている戸籍上の性別(出生時に医師が性器の見た目で判断し割り当てる性)、性別役割(その性別に期待される行動、振る舞いなど。例:男らしさ/女らしさ)に影響を与えられながら、その人の「性の在り方」を形成する。

### (3)SOGI(ソジ)とは

性的指向(Sexual Orientation)は異性愛、同性愛、両性愛、全性愛、アセクシュアル(好きになる性を持たない)などあらゆるものと含む。性自認(Gender Identity)は割り当てられた性別と性自認が一致するシスジェンダー、それが一致しないトランスジェンダー、また自分を男女のどちらでもないと思うXジェンダーなども含む。この性的指向、性自認の略であるSOGIは誰もが持つ属性を表しているため、性的少数者だけを差すLGBTよりも広い概念である。

## 2. 当事者のライフヒストリー

幼稚園児だった頃、「あなたは○○くんにチョコレートあげないの?」と聞かれた時、「自分はもらえる側ではないのか?」と思ったことに始まり、女子トイレに入っているところを誰かに見られるのが嫌で極力トイレに行かないようにしていた小学生時代、制服によって明確に男女を分けられたことへのストレスを感じた中・高生時代、「将来結婚したら…」と女性であることを前提にした話題を振られることへの強烈な違和感を覚えた教員時代など、言語化できない悩みを抱え、苦しみながら生きてきたこと、そして学ぶことによって自分を再定義できて救われたことなど自身の経験に基づいてお話し下さいましたことで、シスジェンダーや異性愛が当たり前とされている社会で生きて行くことがいかに大変かということがわかるお話しでした。

## 3. 周囲の人できること

社会には性的少数者はいないことにされているが、「いる」という前提で考えたり行動したりしてみることが大切。知るために本を読んだり、周囲の人と話してみたり、性的少数者に否定的な発言をしている人に対して肯定的な発言をしてみるのも良い。できればなにかアクションを起こしてほしい。そしてもし当事者から相談を受けたら、勝手にその秘密を第三者に暴露する「アウティング」をしないこと。情報共有の範囲など、必ず本人の同意が必要。

## 4. もっと知りたい人へ ~講師から推薦があった書籍を2冊紹介。

「ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた  
－あなたがあなたらしくいられるための29問」  
佐藤文香(監) 【明石書店】

「先生と親のためのLGBTガイド  
－もしかしたらがカミングアウトされたなら」  
遠藤まめた 【合同出版】

約70名の参加者からは「普通って何?」と考えさせられました。「性を含め人の多様性を当たり前と思う自分であります、社会であります」となどの感想が聞かれました。講演中に紹介された参考図書の中には当センターの図書室で借りられるものもあります。あなたもSOGIについて学んでみませんか?

福島県からのお知らせ

## 「男女共同参画推進アドバイザー(講師)派遣事業」を活用してみませんか?

県では、県民ひとりひとりの男女共同参画に関する意識の醸成を図ることを目的として、学校や企業及び市町村等が実施する授業や研修等に、男女共同参画に関する各分野の専門的な知識や実践経験を有する者を「アドバイザー(講師)」として派遣する「福島県男女共同参画推進アドバイザー派遣事業」を実施しております。

### 1 派遣対象

男女共同参画に関する授業や研修等を広く一般に対しで行う学校、企業及び市町村等

### 2 対象事業

男女共同参画の基礎講座、女性活躍推進、セクシュアル・ハラスメント、LGBTについてなど、広く男女共同参画に関する事業

### 3 募集期間

令和2年12月末まで(予定)  
※採用件数は年間8件程度としており、応募状況によって募集を締め切らせていただくことがあります。

福島県 生活環境部 男女共生課

電話:024-521-7188 FAX:024-521-7887  
E-mail:danjo@pref.fukushima.lg.jp



## センター図書室の 新着図書からオススメ本

### 【ワンピースで世界を変える!

専業主婦が東大安田講堂でオリジナルブランドのファッションショーを開くまで】

【分類2205/ア】ブローランチ智世/著 創元社 2020年

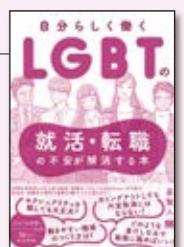
この本は専業主婦だった著者が、ジェンダーフリーの洋服を扱うブランドを一人で立ち上げ、人々の協力を得てファッションショーを開くまでの軌跡が書かれています。著者は大学で性同一性障害(性別違和や性別不合とも言います)の授業を受け、既存のレディース服では様々な問題があり、それが原因で自殺まで考える人がいることを知ります。そして、SNS上で当事者たちの声を聞き、男性的な骨格の人が着ても美しく見える服作りの為に奮闘します。生き生きとした姿の実際に服を着た人たちの写真も収録されており見応えがあります。是非、ご覧ください!



### 【自分らしく働くLGBTの就活・転職の不安が解消する本】

【分類5201/ホ】星賢人/著 翔泳社 2020年

就職・転職活動についての基本的な事柄はもちろん、カミングアウトをすべきか、性別移行のタイミングに関してなどLGBT当事者のお悩みについても網羅しています。各章の合間に就職活動・転職活動に成功した先輩たちの体験談も掲載。就職・転職活動を視野に入れているLGBT当事者の方や当事者の力になりたい方々にもおすすめします。他にも『職場のLGBT読本』【分類5201/シ】、『LGBTQ+の児童・生徒・学生への支援』【分類5201/カ】など様々な場面に沿った本を所蔵しています。是非、興味のある方は足をお運びください。



問い合わせ

福島県男女共生センター図書室  
電話:0243-23-8308

開館時間

9時～20時  
(休館日前日は17時、休館日は月曜日)



## センター利用案内

### 研修室・宿泊室

☎0243-23-8301(代表)

開館時間:9時~21時(休館日前日は、17時)

休館日:月曜日(この日が祝日の場合はその直後の平日)、年末年始(12/29~1/3)

※その他臨時休館することがあります。

リーズナブルな料金で、どなたでもご利用いただけます。

各研修室(25名程度) 1,000円~ 宿泊室(1泊1名) 4,000円~

### 相談室

☎0243-23-8320

開室時間:9時~12時・13時~16時 [水曜日] 13時~17時・18時~20時

○一般相談

○法律相談 第3水曜日

○女性のためのカウンセリング 第1・3金曜日

○男性相談員による相談(電話のみ)火曜日 17時~20時 ※事前予約が必要な相談があります。詳しくは上記☎まで。

### 図書室

☎0243-23-8308

開室時間:9時~20時 [休館日前日] 9時~17時

約4万冊を蔵書。毎月テーマを変え、おすすめの本を紹介。  
児童書や大型絵本もあります。

### 福祉機器展示室

☎0243-23-8316

開室時間:9時~12時・13時~17時

約600点以上の福祉用具を「見て 触れて 体験できる」県内最大規模の展示室。福祉用具や住宅改修に関するご相談もお受けしています。

### お詫びと訂正

未来館NEWS75号の「特集:令和元年度地域課題・調査研究事業『福島県の高校生に対するデータDVに関する調査』」の2調査方法(2)の回収率につきまして、調査対象としました県内の普通高校数が違っていました。お詫びし、訂正させていただきます。

【訂正】回収率76.6%(72校／94校) → 80.9%(72校／89校)

### 公式Facebookを開設しています。

福島県男女共生センターでは、「公式Facebook」を開設しています。

センターの主催事業や施設に関するお知らせ等を、リアルタイムにお届けします! ぜひ、ご覧ください。



### 76号表紙写真

センター西側の3階入り口からの写真です。電車でお越しの方は、二本松駅より久保丁坂を上り切って、少し下ったところに見えてきます。黄色に色づく楓の木は9月下旬頃から色づきはじめ、紅葉が進んでくると甘い香りがしてきます。



福島県男女共生センター広報誌

# 未来館 NEWS

Public relations magazine  
MIRAIKAN NEWS

2020

WINTER

76

当センターに対するご意見・ご質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

(公財)福島県青少年育成・男女共生推進機構

福島県男女共生センター(女と男の未来館)

〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1

TEL:0243-23-8301(代) FAX:0243-23-8312

<https://www.f-miraikan.or.jp>

MAIL:mirai@f-miraikan.or.jp

未来館  
+20

2021.1.18  
おかげさまで 20 年。  
自分らしくを これからも